

◎横須賀市自然・人文博物館のリニューアルについて

1 趣 旨

横須賀市自然・人文博物館は、昭和45年（1970年）の自然博物館開館と、昭和58年（1983年）の人文博物館開館以来、50年以上にわたり三浦半島の自然と歴史を紹介してまいりました。

しかし、近年では、展示物の老朽化や来館者用エレベーターが設置されていないこと、大規模な改修を行っていないことなどから、展示の分かりやすさや資料の保存、バリアフリーへの対応に課題が生じています。さらに、令和5年（2023年）の博物館法の改正により、文化観光その他の活動を図り地域の活力の向上に取り組むことを努力義務とされ、時代に合わせた展示や資料保存、教育活動の充実がこれまで以上に求められるようになっていきます。

このような状況を踏まえ、今後のリニューアルに向けて「横須賀市自然・人文博物館リニューアル基本計画（案）」を作成いたしましたので報告します。

2 施設概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 名 称 | 横須賀市自然・人文博物館 |
| (2) 所 在 地 | 横須賀市深田台95番地 |
| (3) 面 積 | 自 然 館：2,782㎡
人 文 館：5,379㎡
文化財収蔵庫：539㎡ |
| | （※展示室面積：1,941㎡） |
| (4) 構 造 | 自然館：鉄筋コンクリート造（地下1階地上3階）
人文館：鉄骨鉄筋コンクリート造（地下1階地上5階） |

リニューアルでは、新たに建物を増築したり床面積を広げたりすることを行わず、現在の建物の範囲内での改修を進めてまいります。

3 リニューアルの方向性

(1) コンセプト

地域学習と文化観光の核となるミュージアムへ！

【目指す姿】

- ① たくさんの人が訪れたい博物館
- ② ここにいれば横須賀が分かる博物館
- ③ なんども来たい博物館

(2) 施設改修のポイント

- ① 常設展示室の全面改修（体験型展示の充実、更新性の高い展示室整備）
- ② 入口を1か所に集約し、一方向で巡れる順路を設定
- ③ 特別展示室の増設（1室から2室へ）
- ④ 来館者用エレベーターの設置（1階から3階まで）
- ⑤ バックヤードの改修（資料室の容積拡大、老朽化した設備の更新等）

4 展示リニューアル計画

初めての方でも楽しめる、ワクワク感や感動があり、分かりやすく、何度来ても楽しめる展示を目指します。

【展示構成】

(1) 横須賀ワンダーゲート（2階自然館）

エントランスでは、ナウマンゾウの骨格標本や動く模型を展示し、来館者に驚きと期待感を与えます。あわせて、同時代に生きた動物も紹介します。



(2) 横須賀ダイナミック・シアター（2階自然館）

横須賀の自然と人のつながりをテーマにした体感型映像シアターを設け、床や壁全面に映像を投影して没入感を演出します。また、段状の席も設け、講座やガイダンスにも活用します。



(3) オーシャン・アトリウム（2階人文館）

三浦半島の海と船をテーマに、スライダーや探検型展示で遊びながら学べる体験空間（アトリウム）を設けます。1～2階の吹き抜けを活用し、ダイナミックに展開します。



(4) 三浦半島の自然と暮らし (2階人文館)

実物資料を通して地域の自然や文化の多様性を紹介し、自分なりの自然との関わりを考えるきっかけを提供します。



(5) 横須賀のあけぼの～大地の誕生から黒船来航前夜まで～ (1階人文館)

地質時代から近世までを扱い、シアターと資料展示で当時の環境や人々の暮らしを分かりやすく伝えます。



(6) 激動の横須賀～黒船来航から現在まで～（1階自然館）

横須賀の発展や近代化の流れを、ジオラマや映像を使って分かりやすく伝え、現在の横須賀につながる歴史を理解できる内容とします。



(7) 収蔵展示室（1階人文館）

収蔵資料やバックヤードの様子を見学できるスペースを設け、資料の保管や博物館の役割について分かりやすく伝えます。



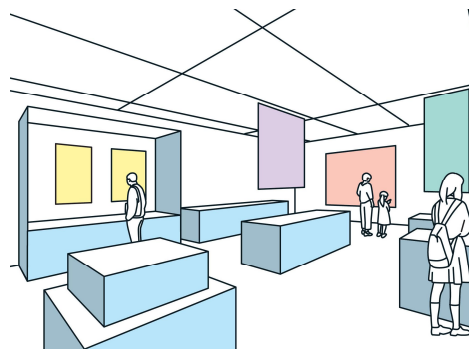
(8) 博物ひろば（1階自然館）

団体利用や学習、休憩など多目的に使えるフレキシブルスペースを設けます。図鑑やパズル、触れる資料、横須賀紹介のモニターなども用意し、知的好奇心を刺激します。



(9) 特別展示室（3階人文館）

特別展示室は広さを調整でき、大規模展示や2室同時の開催も可能です。常設展示で扱えない資料や学芸員の研究成果など、多様なテーマの展示を行います。



5 今後のスケジュール（予定）

令和7年4～8月 リニューアル基本計画の素案についての意見聴取
 令和7年8月15日 教育委員会にてリニューアル基本計画（案）の説明
 令和7年9月 環境教育常任委員会にてリニューアル基本計画（案）の一般報告
 令和7年10月 教育委員会にてリニューアル基本計画を策定
 令和8年3月 エレベーター新設に関する基本設計その他業務 完了
 令和8年度 事業者選定
 令和8～9年度 実施設計
 令和10～11年度 建築・電気・設備工事、展示制作、設置
 令和12年度以降 開館準備、リニューアルオープン

6 来館者へ行ったアンケート調査結果（令和6年度）

令和6年（2024年）12月から令和7年（2025年）1月にかけて、特別展示や館主催イベント等を目的に来館された方を対象として、リニューアルに関するアンケートを実施しました。

アンケート実施期間	特別展示・イベント	回答数
令和6年12月3日～ 令和7年1月31日	特別展示「市街地が語る横須賀」	76
令和6年12月21日	「市街地が語る横須賀」特別展示講演会	11
令和6年12月21日～ 令和7年1月26日	博物館クイズ「すかぞうの挑戦状」	248
令和7年1月25日～26日	研究発表会「みんなの理科フェスティバル」（大人）	56
令和7年1月25日～26日	研究発表会「みんなの理科フェスティバル」（子ども）	72
合 計		463

※ アンケートに頻繁に記載されたワードを抽出して図にすると、以下のよう
になりました。



アンケートでは、「化石」「生き物」「恐竜」「歴史」「子ども」「体験」などのワードが多く記載されていました。また、来館者がリニューアルに当たって求めているポイントを内容別に分類すると、以下のように整理できます。

(1) 資料収集・保管について

地域資料の継続的な収集および保管、ならびに博物館が地域の歴史を伝える役割の強化を求める意見が寄せられました。

(2) 調査研究について

調査研究機関としての役割の推進や、研究成果の積極的な発信を求める声がありました。

(3) 展示について

展示に関する意見は多岐にわたりますが、体験型展示や横須賀に特化したテーマ展示への期待が特に大きく、子どもが楽しめる体験やフォトスポットの設置を望む意見が目立ちました。また、展示方法や説明の分かりやすさについても多くの要望が寄せられています。

(4) 教育普及について

体験イベントやワークショップの更なる充実が求められており、特に子ども向けプログラムへの関心が高い状況です。また、大人向けの講座や、展示と連動した学習活動の充実も要望されていました。

（５）設備・サービス面

館内の移動のしやすさやバリアフリー化、トイレや休憩スペースの拡充、親子で利用できる遊び場の設置など、設備やサービスの向上を求める意見が多く寄せられました。

7 リニューアル基本計画（素案）に対する主な意見（令和7年度）

令和7年（2025年）4月から7月にかけて、庁内の関係部署および博物館と関係のある各団体等を対象に、意見の聴取を行いました。

庁内	文化振興課、まちなみ景観課、観光課、自然環境・河川課 公園管理課
庁外	社会教育委員、三浦半島活断層調査会、三浦半島昆虫研究会 横須賀植物会、相模湾海洋生物研究会、開国史研究会 横須賀考古学会、上町商店街

いただいたご意見を、以下のとおり内容別に整理しました。

（1）資料収集・保管について

資料を収集・保管するだけでなく、それらの積極的な活用を望む意見がありました。

（2）調査研究について

博物館は「地域の学術研究の中心」として、今後も学術的な活動に力を入れてほしいという意見が多く寄せられました。

調査・研究機能が弱まらないよう、引き続き市民や研究者が活用できる体制を維持することが期待されています。

（3）展示について

常設展示については、来館者が何度も訪れたくなるよう展示替えや内容の入れ替え、シアターの更新など新鮮さを保つ工夫が求められました。

また、特別展示の多様化と頻度増加、横須賀らしさや地域性・海との関わりを反映することも重要との意見がありました。

（4）教育普及について

学校との連携強化を期待する意見がありました。

（5）設備・サービス面

バリアフリーへの配慮を強化する要望がありました。

※ 別冊資料

（1）リニューアル基本計画（案）概要版